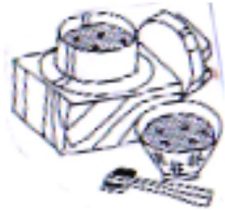


こぼれ話

宮古弁は多彩でおもしろく、かつ暖かい。都会では「ゴミを捨てる」と言うが宮古では「投げろ」と言う。「ありがとう」は「おおきに」という類である。それでも年齢差の違いで通じないことも多々ある。「ねまれ」とか「たつと」などがそのうちである。このたつとだが意味は当然「少し」「わずか」など、ある物の量を意味する言葉だ。

わが家の

【豆腐とカキとネギと小女子の鍋物】



「材料」豆腐、カキ、長ネギ、小女子、出汁の素、出汁コンブ、醤油、塩、みりん。
 「つくり方」一気に寒さが厳しくなってきたので、夜は鍋物がいいですね。しかも簡単に料理ができて、体が温かいです。
 (鉄が崎/K・S)

北太平洋でのサケ漁獲量は85万トから100万トの高水準／日本沿岸が大幅減

企業立地法

法改正に伴う条例改正／宮古の産業構造に不適と指摘

25・4%伸ばす、という基準です。●人材に対する支援。●税制上の支援（ex課税の特例、それとリンクする地方税を減免した自治体への補てん支援等）。●規制の特例措置、などが示されています。

12月12日、経済常任委員会に付託された「宮古市企業立地促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法にもとづく条例の一部改正」案が審議されました。国の法律に基づく条例改正とはいえ、様々な問題点、課題が浮き彫りになりました。

●成長性の高い分野に投資し、市場規模拡大が見込める。地域のリーダーとして地元産官学と連携し、戦略とスピード感ある経営資源を集中する。●資本金10億円の企業であり、設備投資を7年間で98%伸ばす、売上げも7年間で

●規制的な特例措置、などが示されています。●規制的な特例措置、などが示されています。●規制的な特例措置、などが示されています。●規制的な特例措置、などが示されています。

「田老・小堀内漁港周辺のポイントで50マシ超のアイナメ3本」がよほど強烈なインパクトを与えたようで、もう一人の釣り吉が平日に挑戦した。いわく「波打ち際は渡れねえでば。あそこは胴長が必要だ。仮に干潮時に渡ったとしても帰る時に孤立すんがえ」「結局なぐどすたや」「小本・茂師の灯台から山道を降りて右側の突端さ」



地域中核企業の市場拡大

●水吸いてページくつき開かぬ本 身を切る思いに捨つると決めし
 ●万歩中タ立ちありて雨具なし顔の卑を払いはいらい駆け
 短歌 金沢邦臣(田鎖)

北太平洋全域での数量は昨年度85万トの高水準

ロシア、アラスカ増、日本沿岸大幅減



資料によると北太平洋(日本、ロシア、アラスカ、アメリカ、カナダ)でのサケ漁獲量で100万ト超は、この10年間で(2005年~2015年)5回あります。2010年から2015年の5年間で見ても3回です。資料では北太平洋域を分けています。アジア側の漁獲量の推移は、1070年代はロシア、北洋が中心。1980年代は日本沿岸が中心。2005年以降はロシアが増加し中心になっています。アジア側の漁獲量に占める日本沿岸漁獲量はそれまで7~9割だったものが、この5年で4~5割に減少しています。また北米側は1980年代のアラスカ漁獲量は50%、1990年代以降は9割を占めています。(続く)



気が合わせを入れる。途中激しく抵抗。それが手元にガンガンと伝わる。31マシの茶褐色のアイナメだ。午後3時30分納竿。アイナメ6本の釣果。時間が無い！行くぞ！

